

緑内障

患者様情報

来院されるまでの症状

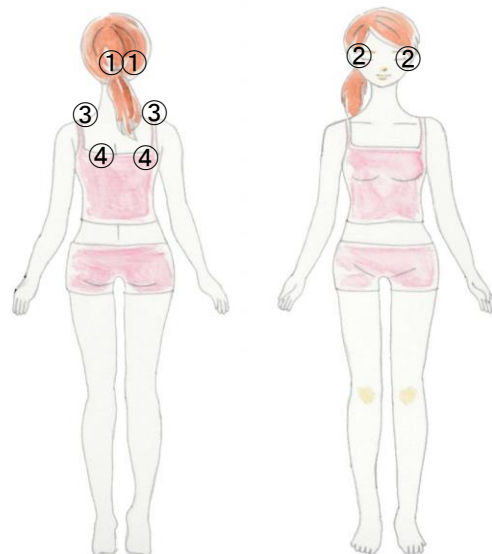
- ・1年前に緑内障を発症。
- ・若い時から慢性的の肩こりと頭痛があったとのことでした。
- ・視野の異常はないが、ドライアイがあり目は疲れやすいということで、来院なさいました。
- ・毎月、眼科で定期検診をされています。

患 者 様	50 代 女性
初 診	2012 年 3 月
既 往 症	偏頭痛
他 の 症 状	肩こり、頭痛、ドライアイ

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・全体的に身体が硬く強ばり、特に首から後頭部、また肩関節から腕など上半身の強ばりが強く感じられました。
- ・血流を良くすることによって眼圧を下げ、緑内障の進行を遅らせるという方針を立て、首、肩、腕の血流改善を中心に施術を行いました。



■ 初診後の経過

- ・数回の来院で頭痛はなくなりました。
- ・さらに、鍼灸治療を始めて3ヵ月目の定期検診では、眼圧の低下がみられたということです。

使用した主要なツボ

- ①天柱（テンチュウ） ②瞳子膠（ドウジリョウ）
③肩井（ケンセイ） ④膏肓（コウコウ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・緑内障を訴える人が増えてきております。
- ・パソコンを主とした長時間のデスクワークによる原因をあげる方も多いのですが、そればかりでなく、慢性的な肩こりによって首から頭にかけた血流が悪くなると緑内障を招きやすいということも認識されたほうがいいかと思います。
- ・進行すれば失明する可能性のある怖い病気だけに、日ごろから目の疲れ、首肩こりに気をとめ、凝りを感じたら早目の対応に努めるように心がけたいものです。
- ・解消法のひとつとして、目の使いすぎによって頭部に上がってしまった熱を下げるという意味で、ウォーキングなどの全身運動は効果的といえます。